



主な登場人物



美山海斗(カイト=クロウリー)：男子バレー部に所属。都内屈指のエーススパイカーで『プリンス』の異名を持つが、莉央たち女子バレー部に負け続けている。
夜、眠りにつくと夢の世界でカイト=クロウリーという名の剣士に転生。王国主催の剣闘大会で勝ち進んでいる。



南沢莉央(リオ=シュバルツ)：全国レベルの強豪女子バレー部のエースで学業成績も優秀。
夢の世界ではリオ=シュバルツという名のエリート騎士に転生。女王直属のエリート女騎士団の若きホープとして認められる。



アリシャ=レイフォード：夢世界の王女。好奇心旺盛で、男の身でありながら剣闘大会で活躍するカイトに興味を抱く。



ハンナ=アーレント：女王直属のエリート女騎士団長。

『スマート』…
周囲の人間は
俺のことを
そのように評する

キュッ

キュッ

確かに
勉強もスポーツも
昔から得意な方だったし



はぁっ

はぁっ

バレエ部では都内屈指の
エーススパイカーとして
『プリンス』と呼ばれている

負けるな
男バレ!!

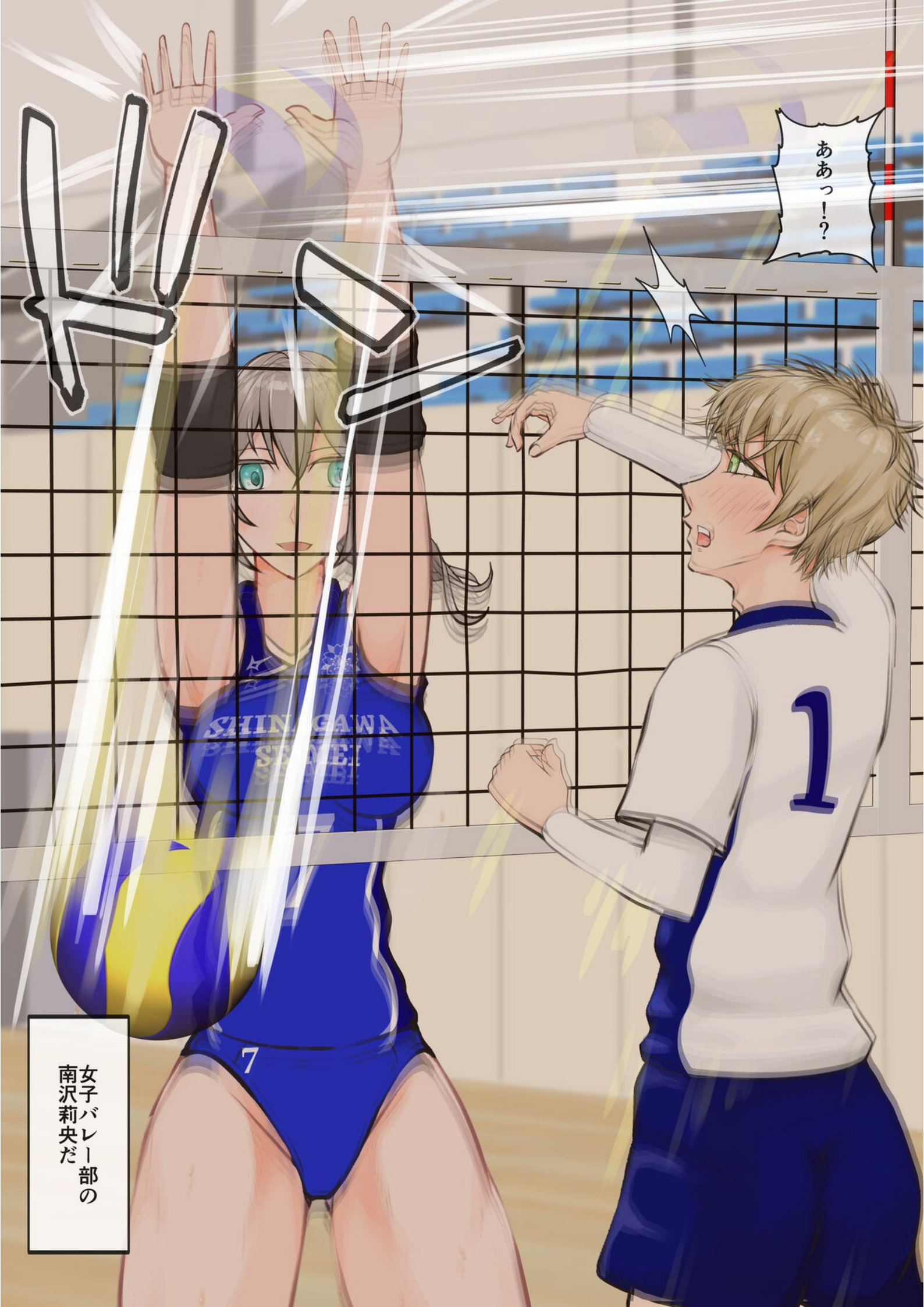
美山先輩
ファイト!

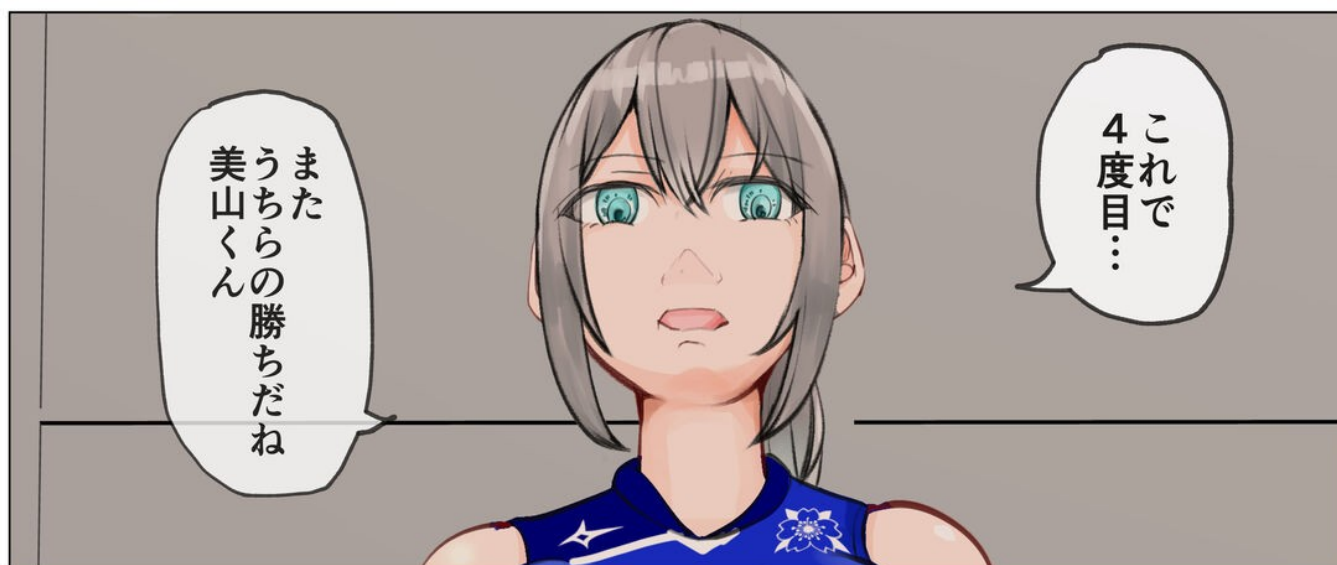




ああっ!?

女子バレー部の
南沢莉央だ





じゃあ…
今日はコートに
膝ついてもらおうかな

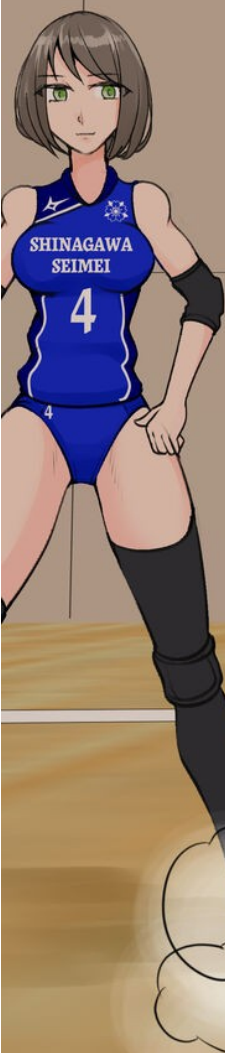
それで
許してあげる

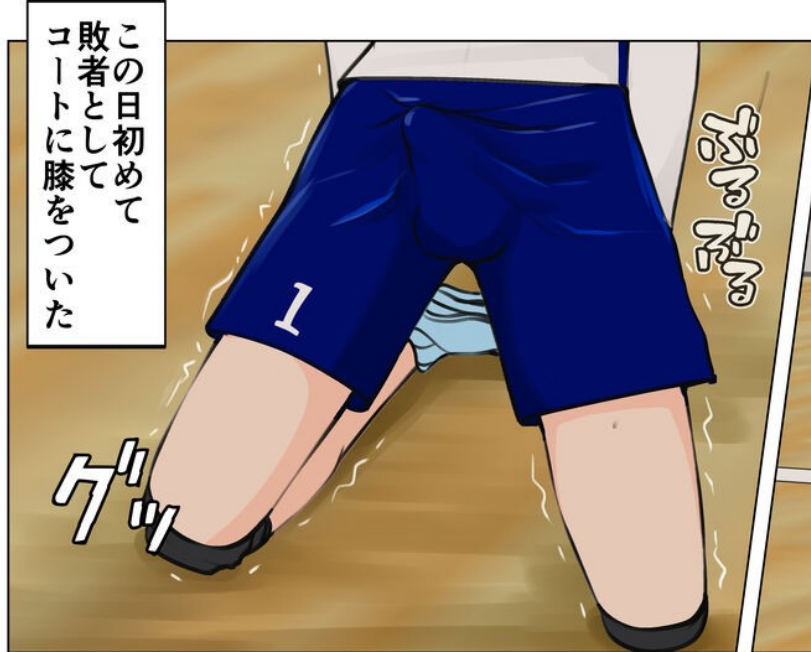
!?

はぁっ

はぁっ

全国レベルのエースで
学業成績も常にトップの彼女の前では
俺の存在など霞んでしまうのだ





この日初めて
敗者として
コートに膝をついた

だんだん

グッ



そして俺は…

くうっ…!?



うん

イケメンエースを
跪かせるって…
なんか優越感あるよね

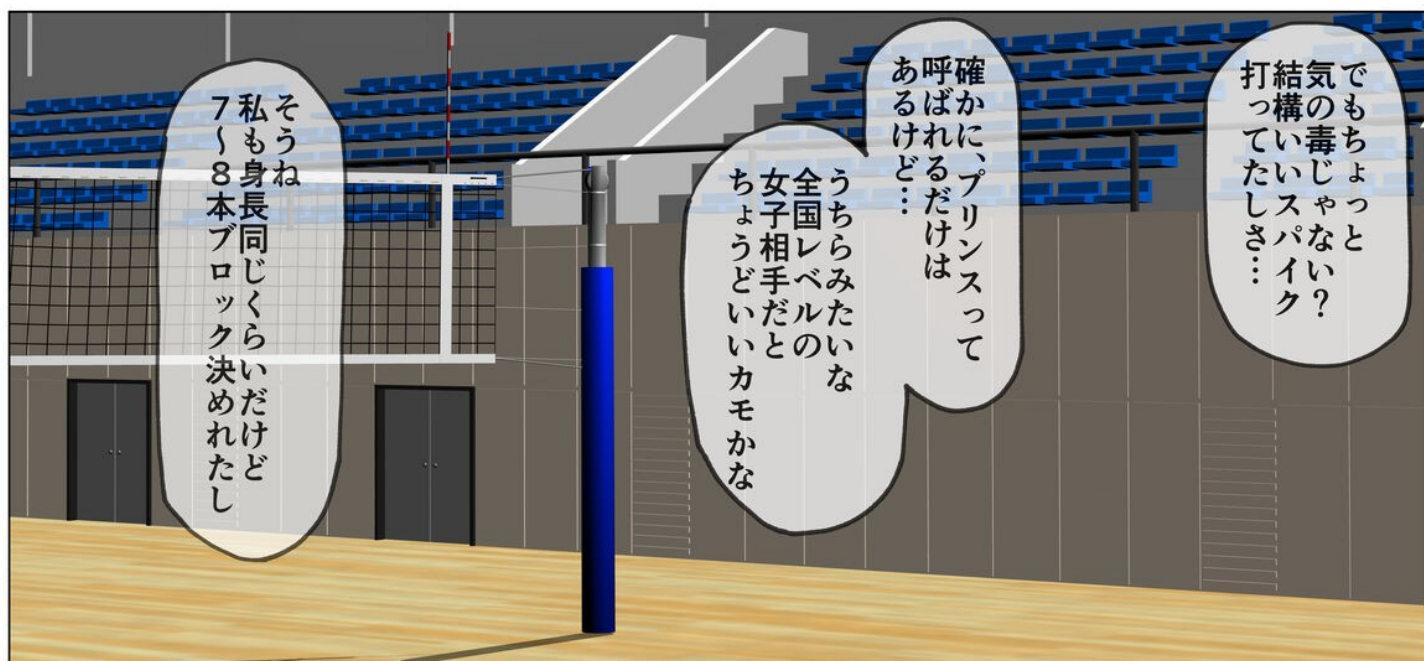
確かに…

さすがプリンス！
悔しがる姿も
絵になるよね〜w

へえ〜

クス

クス



でもちよっと
気の毒じゃない？
結構たいスパイク
打ってたしさ…

確かに、プリンスって
呼ばれるだけは
あるけど…

うちらみたいな
全国レベルの
女子相手だと
ちよどいいカモかな

そうね
私も身長同じくらいだけど
7〜8本ブロック決めれたし

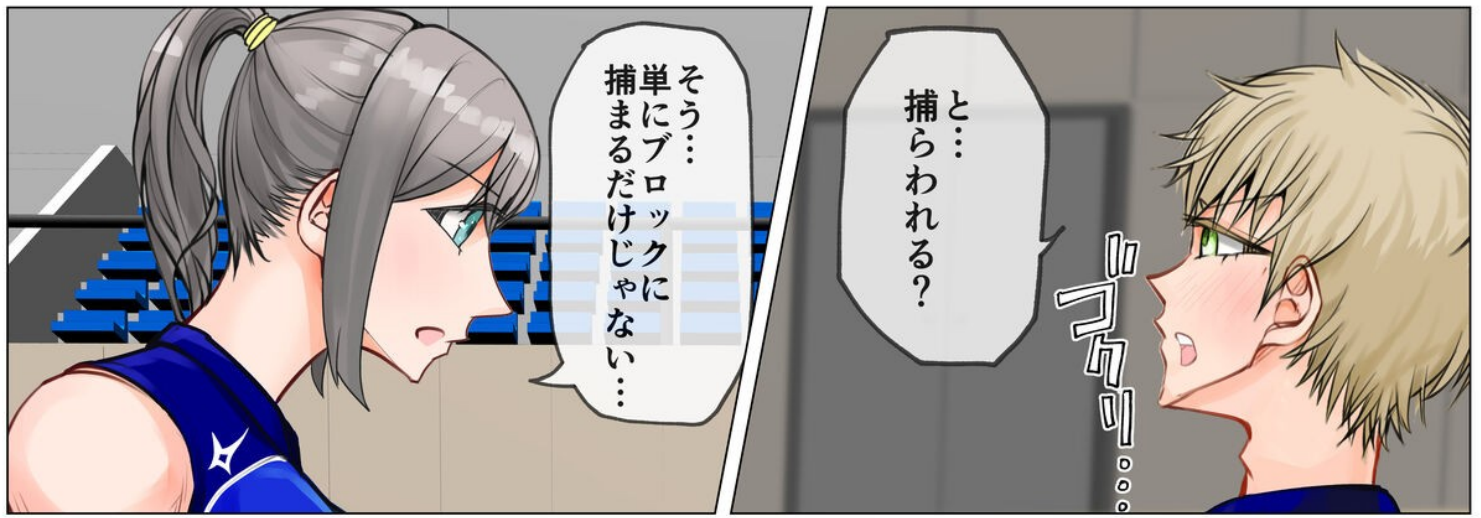


君みたいなのは
半端なエースは
彼女たちの高く
強い壁に…

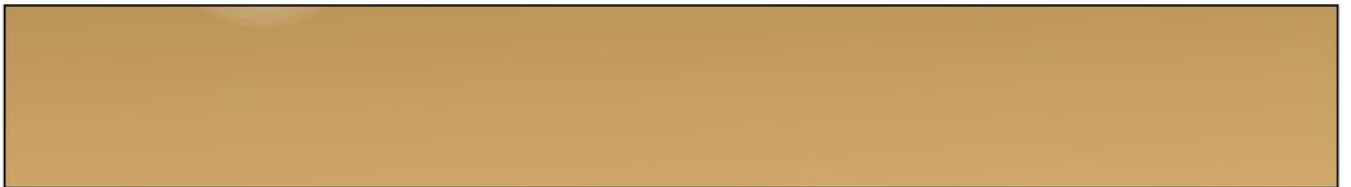


くっ…
ああっ!?

捕らわれて
しまうから…







『あっちの世界』…
それは夜、眠りにつくと訪れる
夢の中の世界のことだ…

そこで俺は
1人の剣士に転生する

勝者・カイトリックロウリー！

そして『剣聖』と呼ばれ
王国主催の剣闘大会で勝ち進んでいた

現実世界と違い、ここでの俺は特別な人間
この世界はきつと自分のために回っている…
いつしか俺はそんなふうになっていった

次は準決勝…
いよいよ御前試合か

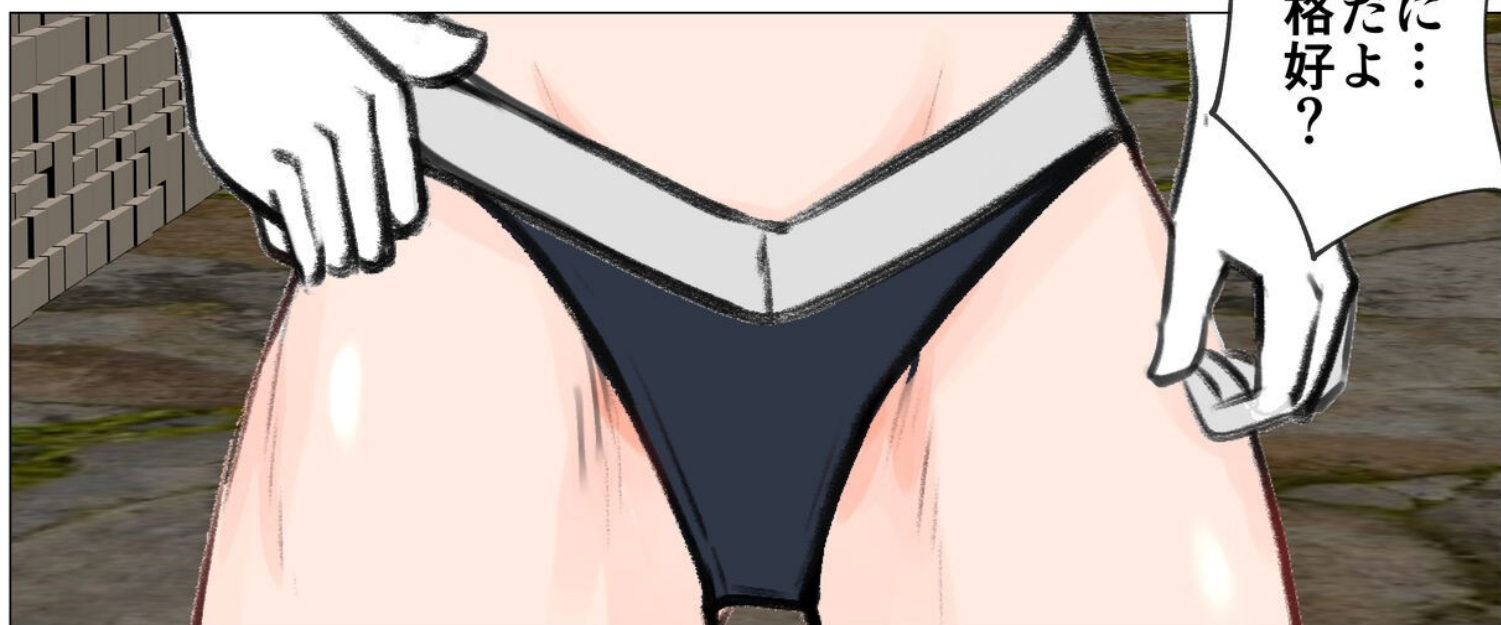
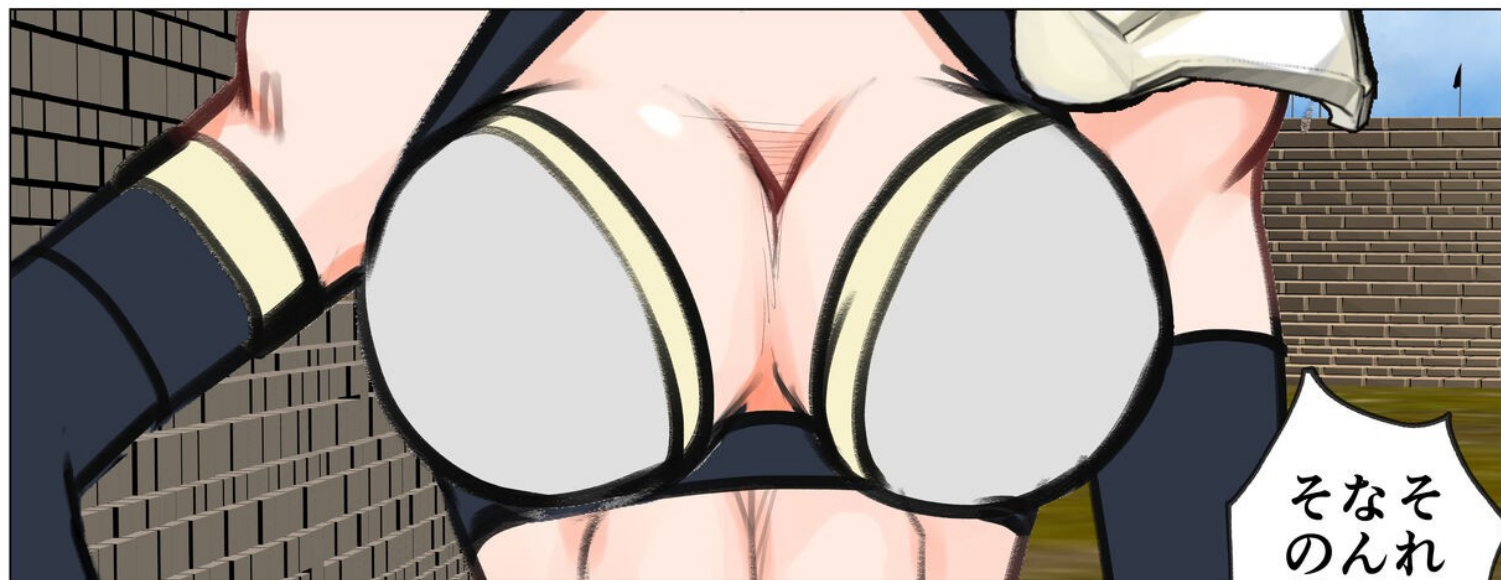
みつ…
美山くん？



みつ…南沢!?

どうして!
ここに!?

そんな時
彼女が夢の世界に現れた



前回の夢はそこで
終わった…

夢の世界の中で
現実世界の人間に出会ったのは
これが初めて…

俺が南沢のことを
強く意識してるから？

でも…試合後確かに
『あっちの世界』って…

『あっちの世界』で
そうして欲しい？

もしかして
南沢も…？

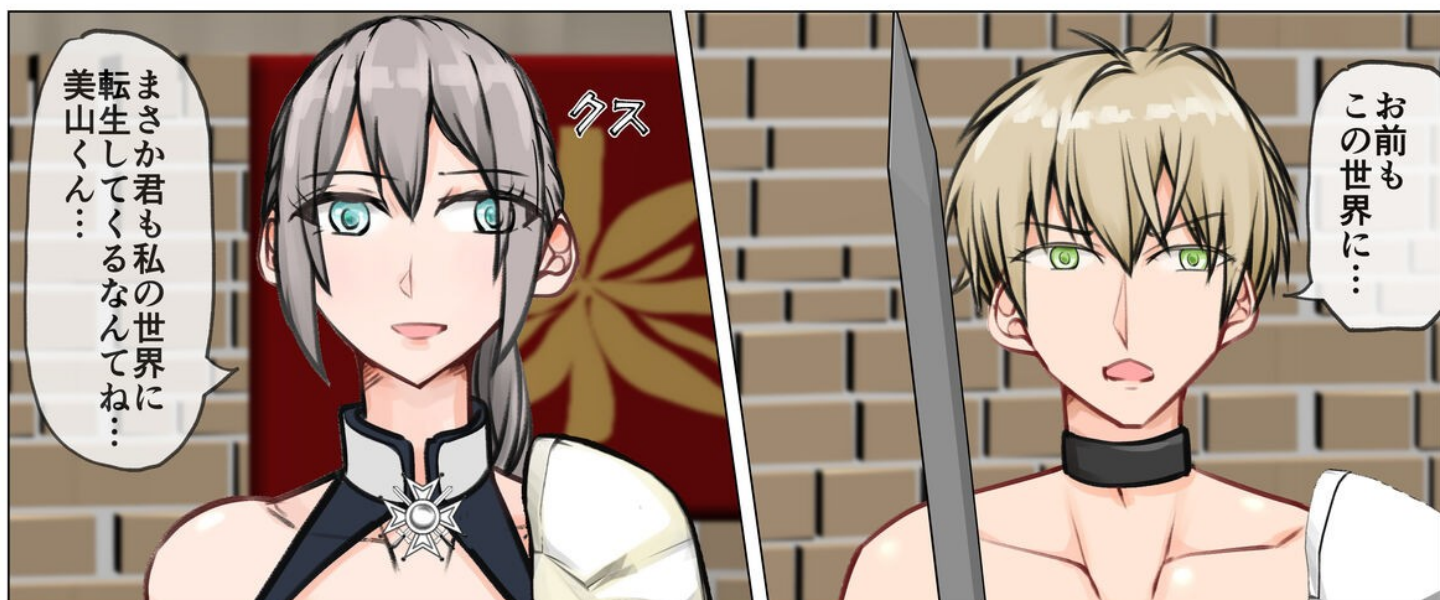
まさか…



準決勝は『剣聖』
カイト・クロウリー 対
『エリート女騎士』
リオリッシュバルツの対戦だ!!



やはり…



まさか君も私の世界に
転生してくるなんてね…
美山くん…

クス

お前も
この世界に…

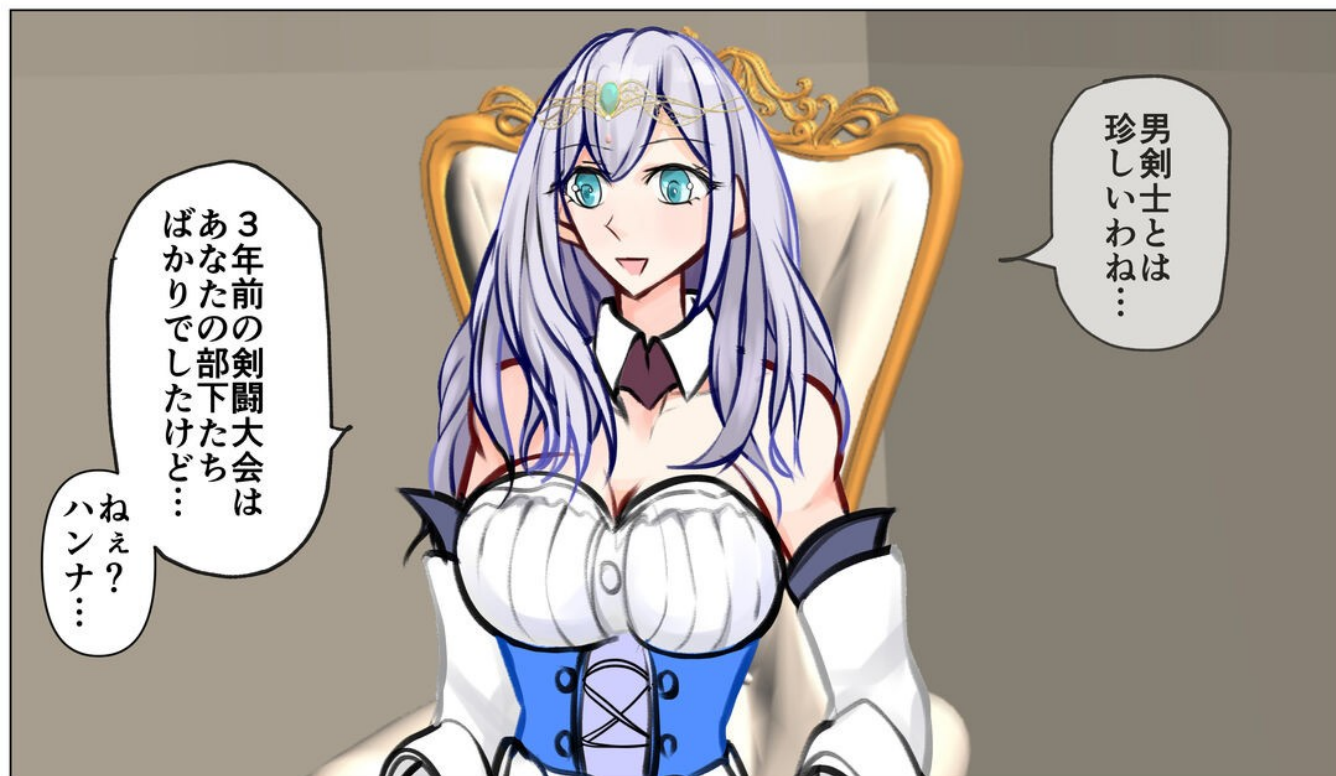


じゃあ...

こっちでも
負け犬の烙印を
押してあげる

!?







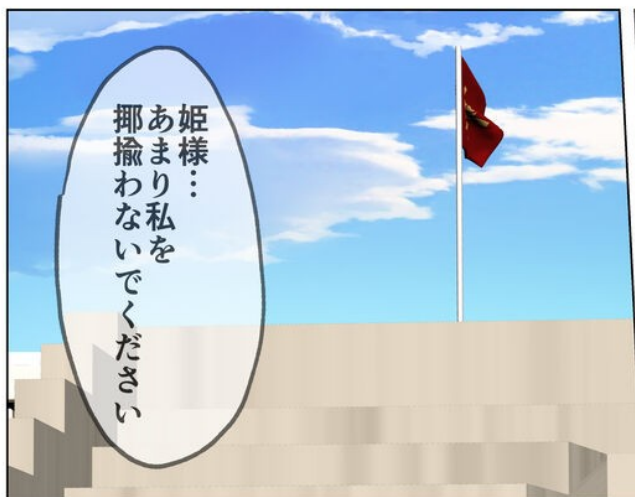
普段、男というものを
殆ど目にしない私にとっては
このような展開の方が新鮮です

優秀な女騎士相手に
男がどの様な闘いを
見せてくれるのか
興味深いですね…



はい…
しかし私には姫様の
お目を汚すのではと
心配でございます

男という生物は
時に醜悪な痴態を
晒すので…



姫様…
あまり私を
揶揄わないでください



『痴態』ですか…

でしたら是非
見てみたいものでは
男の痴態とは
如何様なものか……

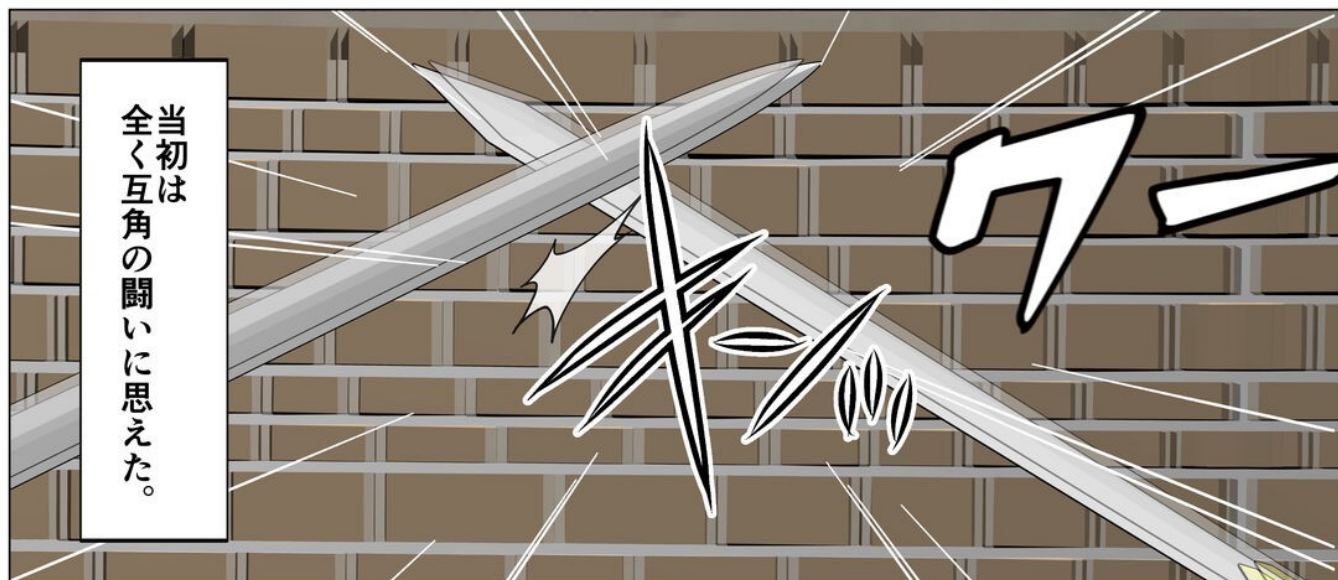
エリート女騎士団の
若きホープである
リオとの決闘は



剣聖と呼ばれた俺と



当初は
全く互角の闘いに思えた。



なっ…
何だ…!?



しかし…

クス

君の剣って
凄く軽いんだねw





ぐう...!?

私がちよつと
力を入れるだけで
ほらっ!

彼女の言葉通り
俺は徐々に力
押し始めました

やはり…我が女騎士団の
伝統により鍛えられた
リオとの力の差が
出始めたようですね

騎士団の
伝統？

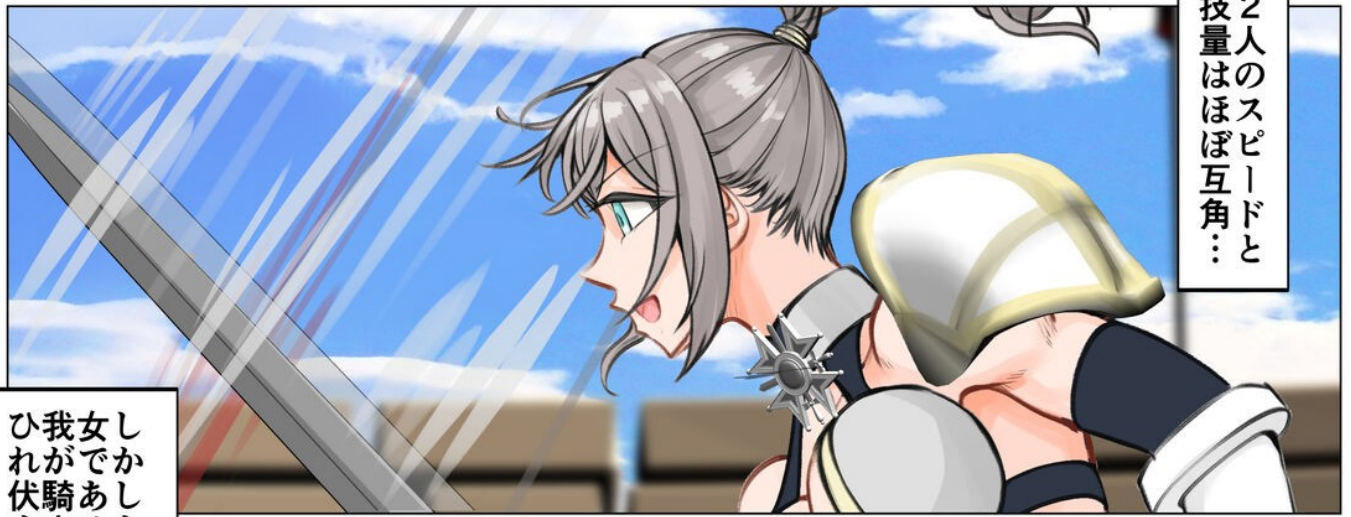
はい…

我が騎士団の剣術は
女性の能力を極限まで
引き出せる様に長い年月をかけて
練り上げられたもの…

しなやかで柔軟な筋肉
遅い腰回りを中心とした
粘り強い下半身…

これらの女性の持つ能力を
存分に駆使することで、男性剣士では
到底生み出せない『重み』を
剣に乗せることができるのです

2人のスピードと
技量はほぼ互角…



しかしあの男は、
女であるリオの肉体と
我が騎士団の歴史と伝統の前に
ひれ伏すのです

なんて重さだ…



くうっ…!?



じゃあ…
そろそろ
負け犬の刻印を…

ニヤリ



もう腕が…

プルプル

はぁっ



ぐああああ!!

刻んで
あげるわ!



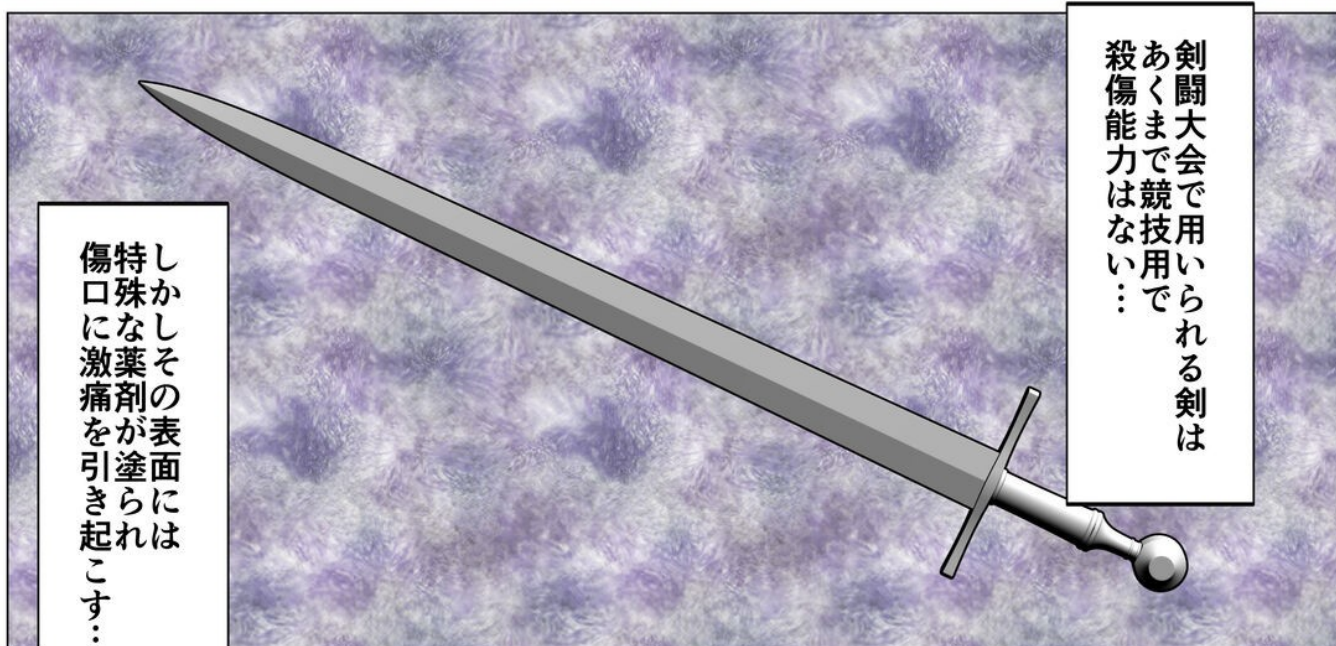
リオの鋭い斬撃が
カイトの胸を斬り裂いたあ！



ぐあああつ!!



ぐっ!!



剣闘大会で用いられる剣は
あくまで競技用で
殺傷能力はない…

しかしその表面には
特殊な薬剤が塗られ
傷口に激痛を引き起こす…



!?

H

そして何より...

肉体に斬り跡が
はつきりと刻まれる

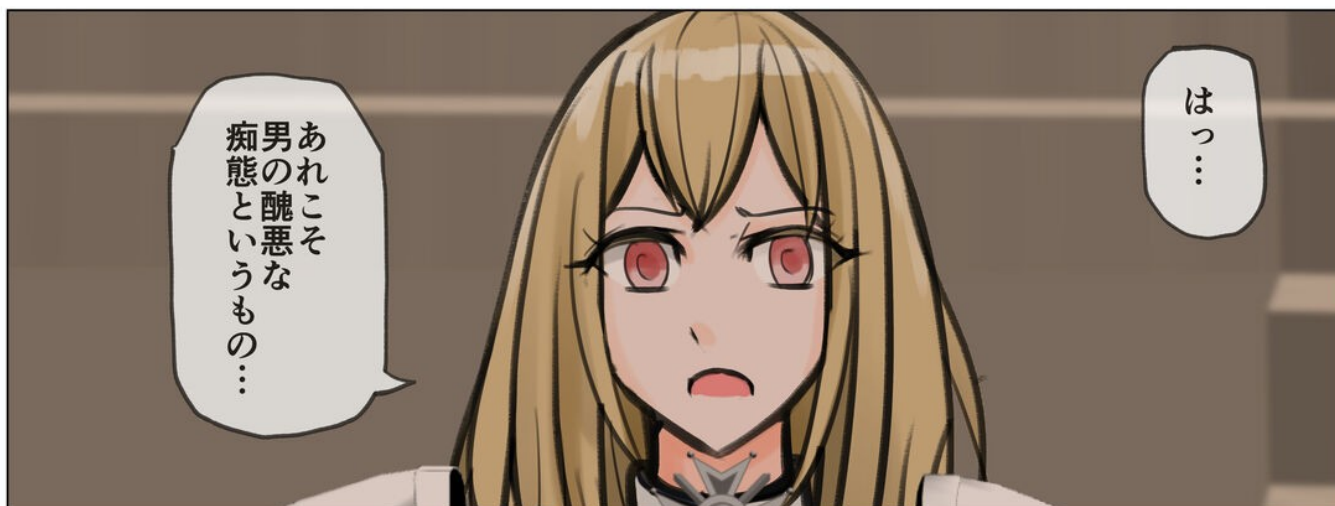
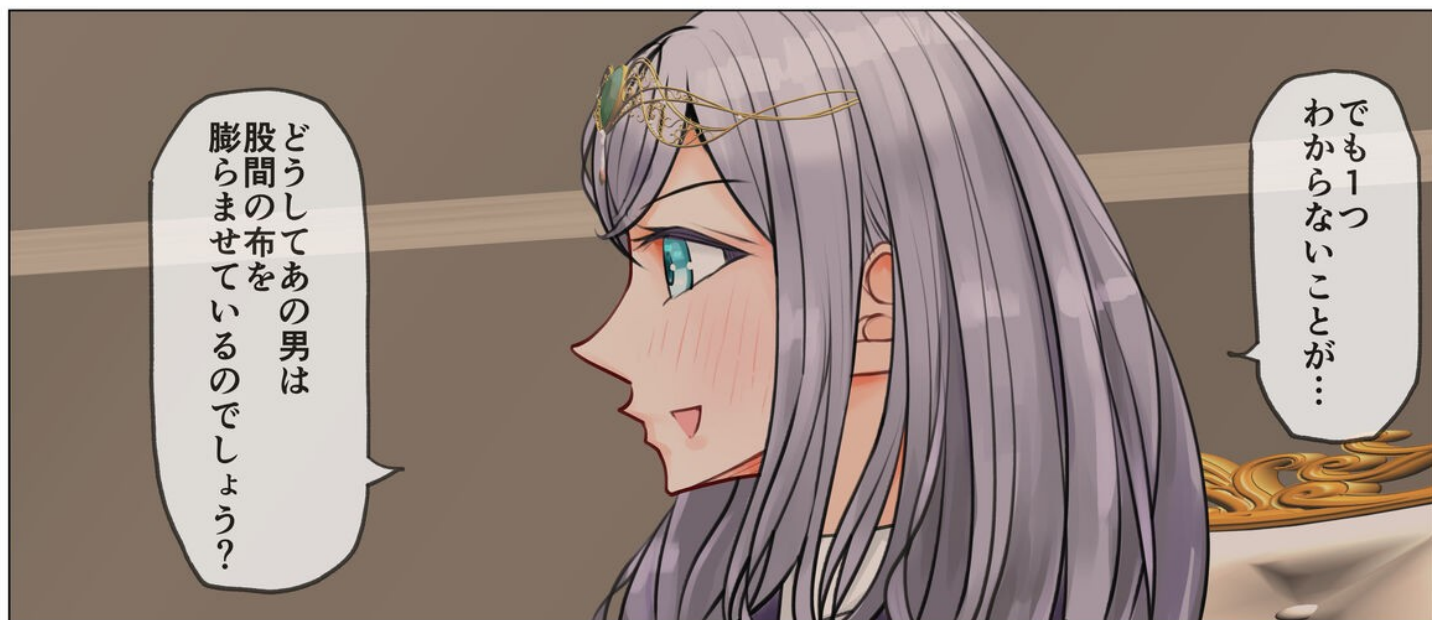
ぐっ…!!?

一撃で決着のつく
実戦とは異なり…

敗者はまるで
鞭打たれた奴隷のような
惨めな姿を晒すことになる…

あぁっ…!!?

うわぁぁぁ…!!?



男は女に劣っている
という屈辱的な状況に
欲情するのです…



くわあっ…
!?

たとえそれが
真剣勝負の
真っ只中でも…
全く…汚らわしい!





でも…何だ？
下半身のこの感じ…



くそっ…
くそっお…!?

はぁっ

はぁっ



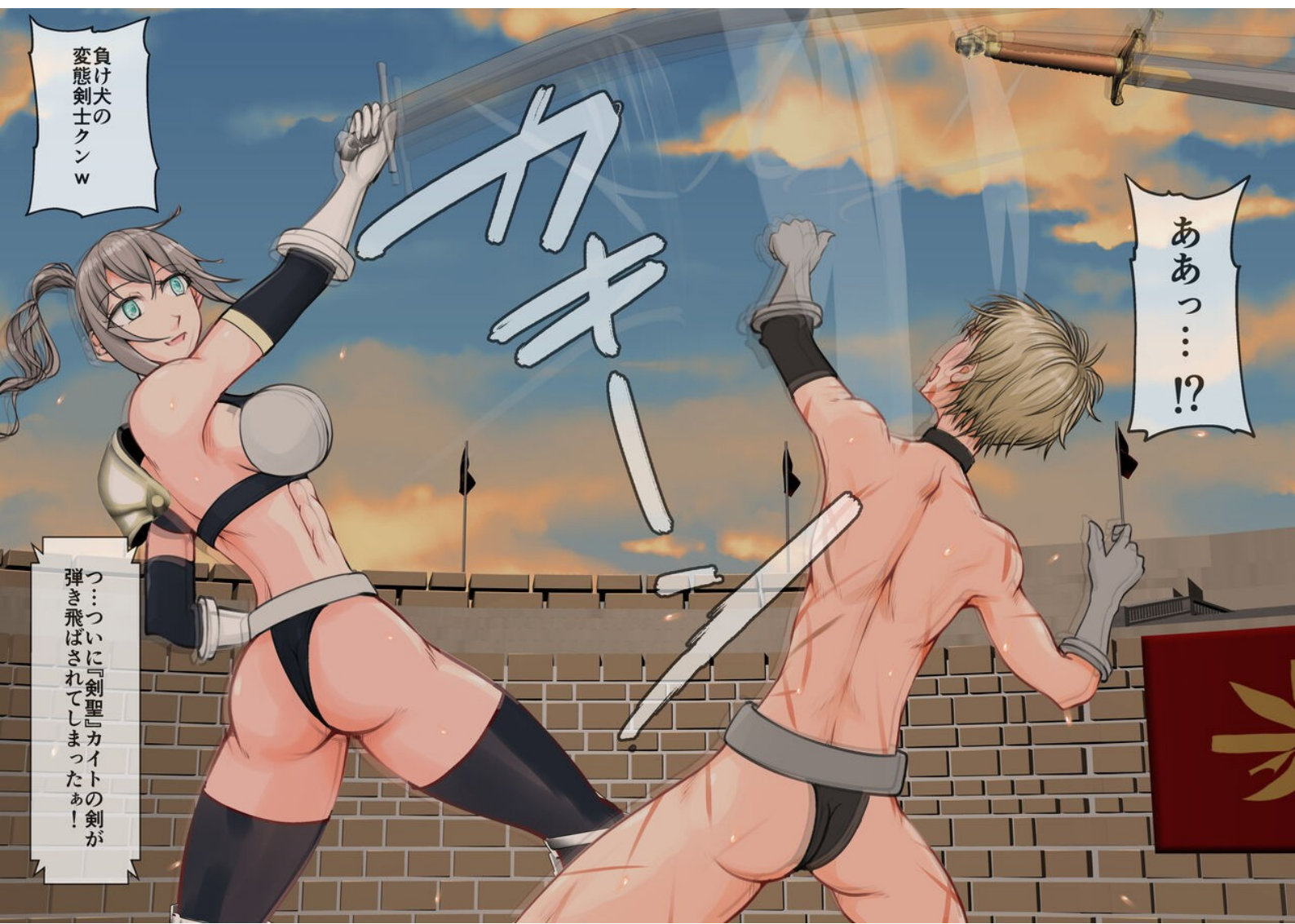
へえ、
そんな趣味
あったんだ…

もっとも…
この剣闘大会の最中に
君みたいになった男性剣士は
数知れずいるらしいけど…



やっぱり君は
私の強さを際立たせる
ためだけに
転生した存在ってことね…

この辺で
終わりにしてあげる



負け犬の
変態剣士クン
w

あぁっ…
!?

つ…ついに『剣聖』カイトの剣が
弾き飛ばされてしまったぁ!

33

私の世界でも
跪かされちゃったね…

リオリシユバルツ！
騎士団の未来を担う
新星の誕生です！

はぁっ

はぁっ

はぁっ

……

7

カッ
ク

結局俺は、散々斬り刻まれた上に
一太刀も浴びせられず
無様に地面にひれ伏した

7



大変
お見苦しい闘いを
お見せ致しました…

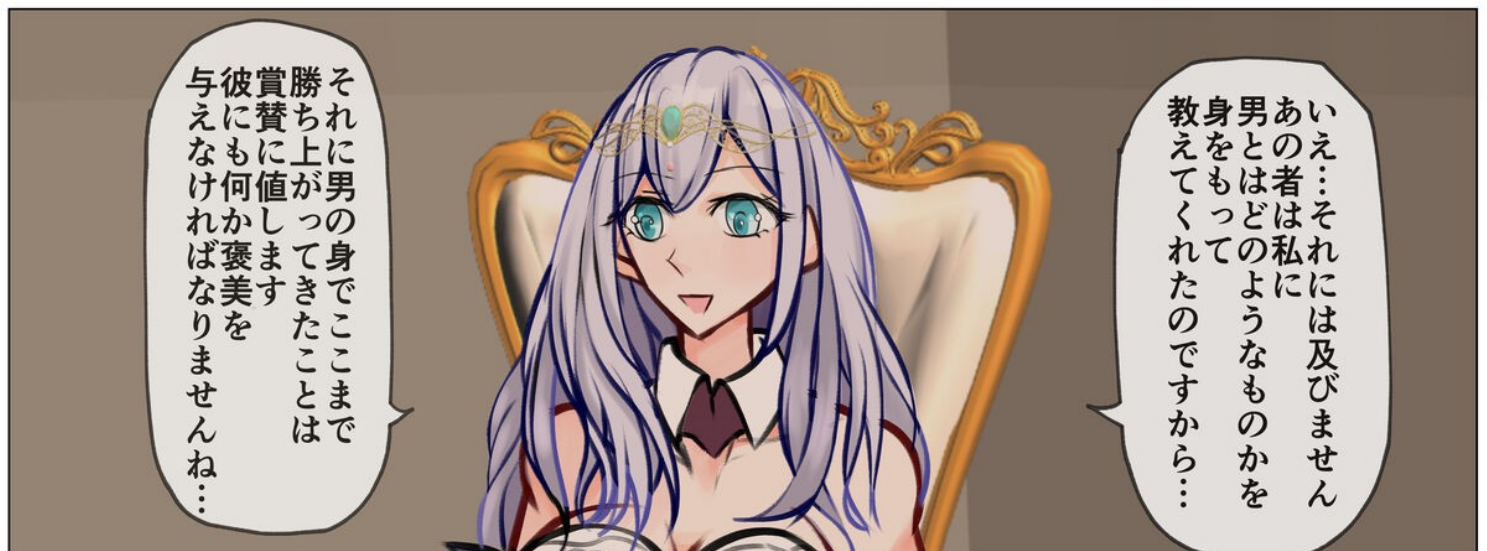
このハンナ
姫様をお守りする
騎士団長として
お詫び申し上げます

いえ、大変見応えのある
闘いでしたわ
騎士団の若き剣士の
成長も頼もしく思います



ありがたきお言葉…
しかしあの男が、姫様の
お目を汚したことは事実…

あの者のペニスとは
私の剣で切り落とし
市中引き回しの刑にし
いたします



いえ…それには及びません
あの者は私に
男とはどのようなものを
身をもつて
教えてくれたのですから…

それに男の身でここまで
勝ち上がってきたことは
賞賛に値します
彼にも何か褒美を
与えなければなりませんね…

試合中に陰茎を膨らませた俺は
全裸に剥かれた状態で
女騎士団の鍛錬場に連行された

姫様の前で
股間の布を
膨らませるとは
不届なやつ…

本来ならここで
お前のペニスを
切断するところだが

姫様は
寛大なお方…

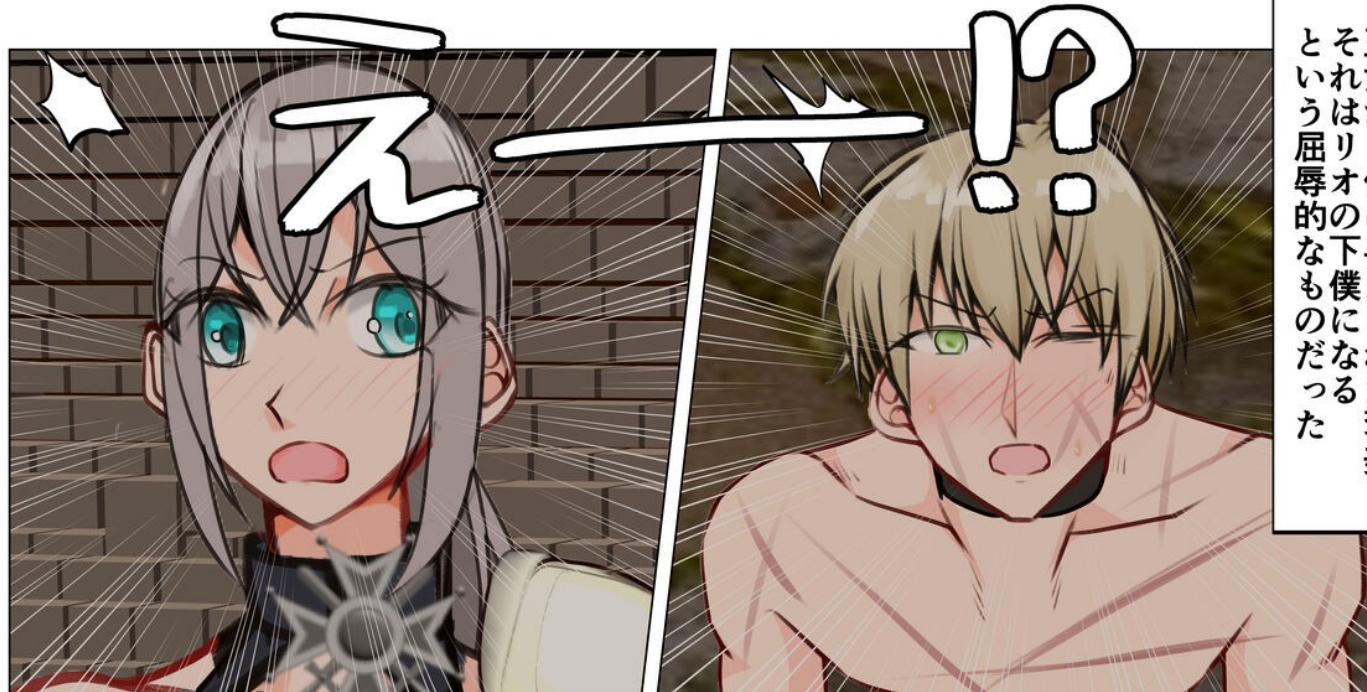
むしろお前に
ご褒美を
下さるようだ

えっ…!?

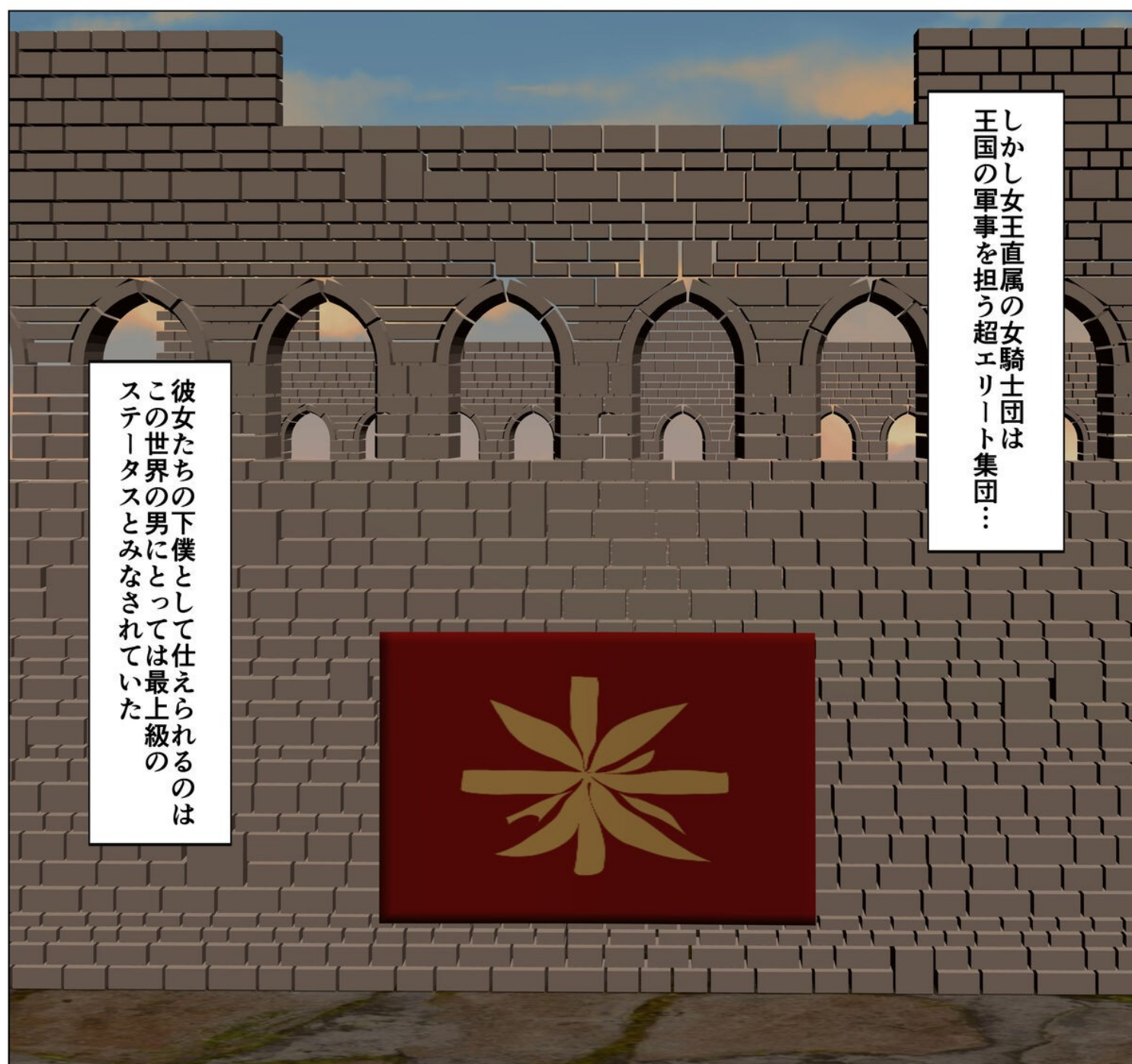
今日から
貴様は…

リオ||シユバルツの
忠実な下僕として生きる
名誉を与えれた!
リオに忠誠を誓い
身も心も捧げるがいい!

!?



王女から俺に与えられた褒美…
それはリオの下僕になる
という屈辱的なものだった



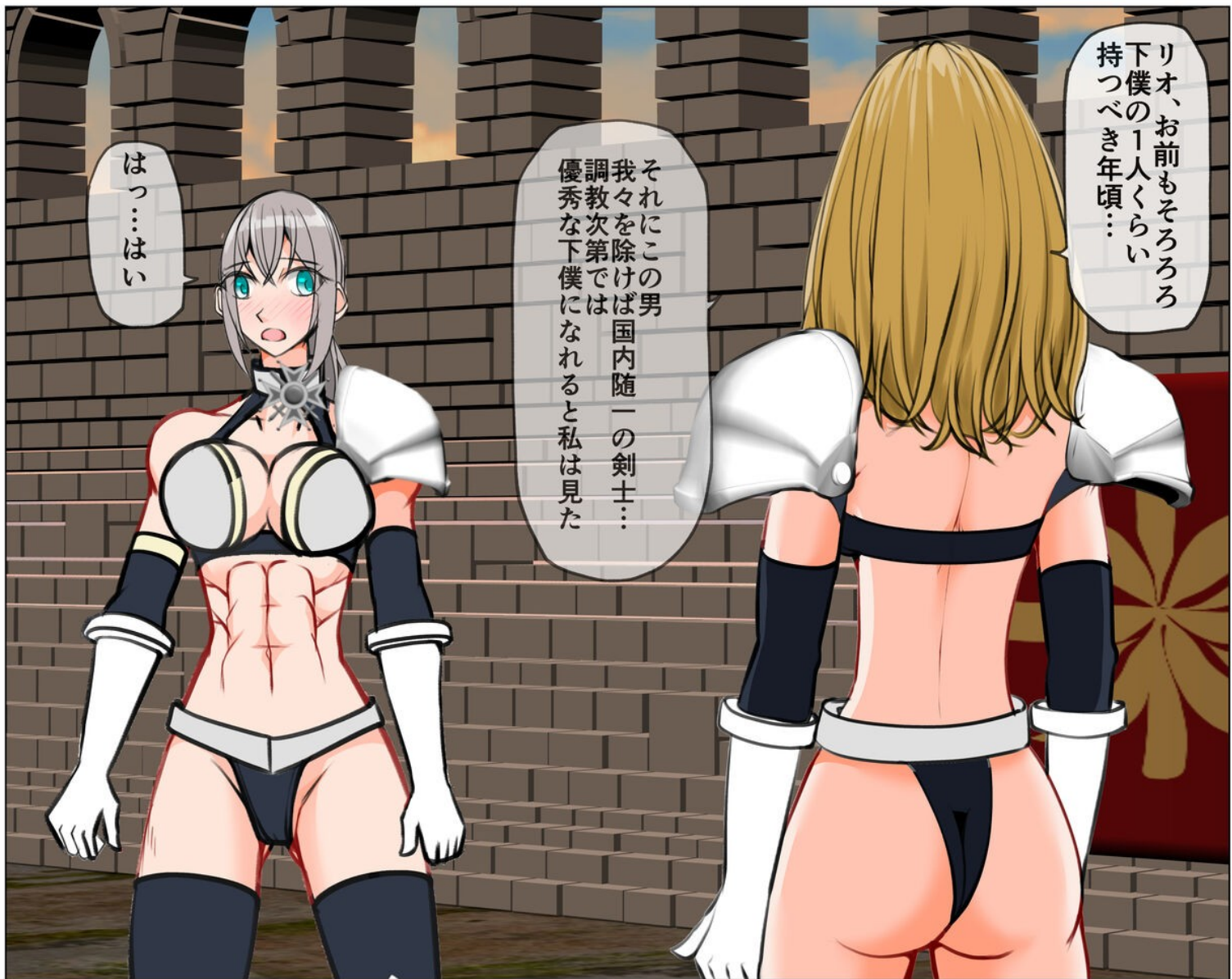
しかし女王直属の女騎士団は
王国の軍事を担う超エリート集団…

彼女たちの下僕として仕えられるのは
この世界の男にとっては最上級の
ステータスとみなされていた



ひょっとして
ハンナ团长…

あの儀式を？



リオ、お前もそろそろ
下僕の1人くらい
持つべき年頃…

それにこの男
我々を除けば国内随一の剣士…
調教次第では
優秀な下僕になれると私は見た

はっ…はい



わ…わかりました
この男を
下僕として認め…

私の優秀な
手足となると調教します



王国の守護神である彼女たちの
様々な体液が染み込んだこの布は
神聖なものであり

よく出来ましたね
では匂いを嗅ぐことを
許します

♡
ちゅっ♡
♡

んっ…♡

それを味わうことで
下僕たちは服従心と忠誠心を
高めていく…



はい…
ハンナ団長



リオ…

その男は元剣士…
剣士としての誇りも
未練も一切残らぬように
してあげなさい



『剣聖』と呼ばれていた
俺への『聖布の儀式』は
念入りに行われた

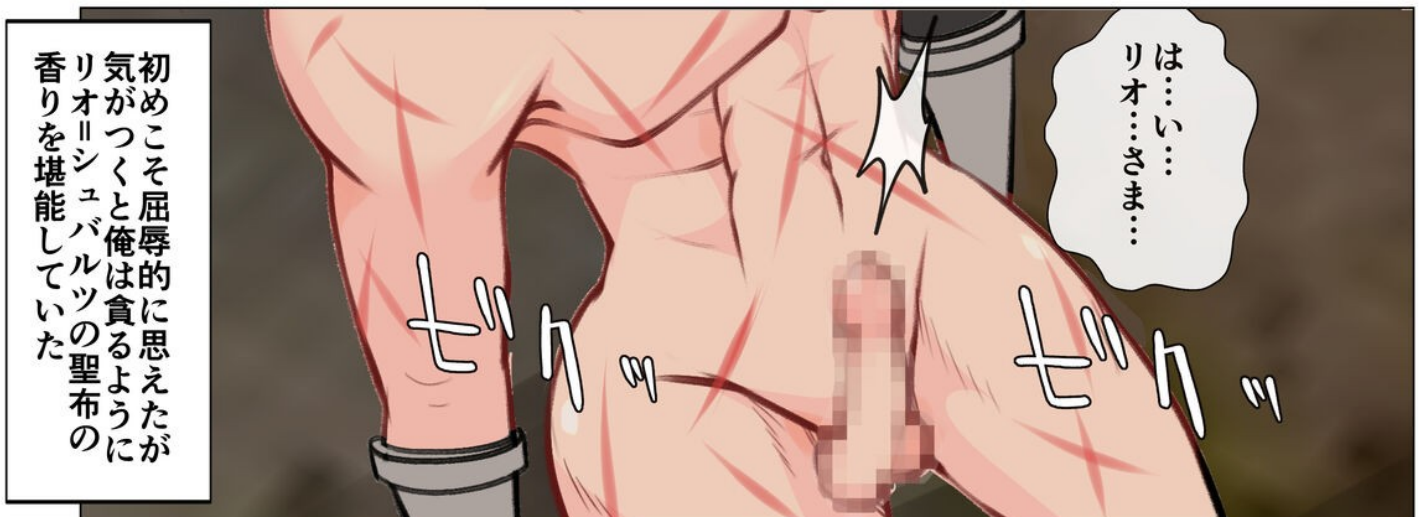
ほらっ!もっと強く
深く吸い込むの…

下賤な身で
上級騎士の高貴な香りを
味わえる喜びを
心に刻みなさい!

んっ♡

んっ♡

んっ♡



は…い…
リオ…さま…

初めこそ屈辱的に思えたが
気がつく俺は貪るように
リオリッシュバルツの聖布の
香りを堪能していた

そして…

次は
『清めの儀式』…
この男が身も心も下僕となり
お前にお仕えできるよう
聖水を与えなさい

はい！

ほら！
口を開けなさい！

ひゃっ

1滴も無駄にしてはダメよ
身体の間々まで
私の下僕になるためにね…

ショボボ…

ほら…
こぼしちゃダメって
言ったでしょう！

俺の中に
リオのエキスが
注ぎ込まれた

がはあっ！



彼女の温かい体液を飲みながら
剣士としての自分が
徐々に死んでいくのを感じた

どう？
初めての
聖水のお味は？

がっ…
がはあっ!?

はあっ

はあっ

はあっ

女騎士に敗れ聖水を飲まされた
事実は一生消えることのない
敗者の証だからだ

そして鎌首を天に
突き上げること俺のペニスは
女騎士の支配を受け入れたことを示した

もっと上手に
飲めるように
調教していかないとね…

はっ
はっ

取り敢えず
私の大事な部分の雫を
舐め取ってもらおうわ

はい…
リオ様…

もっと
優しく
丁寧に！

はい…

そう…

周りも
ちゃんと
舐めて！

はい！

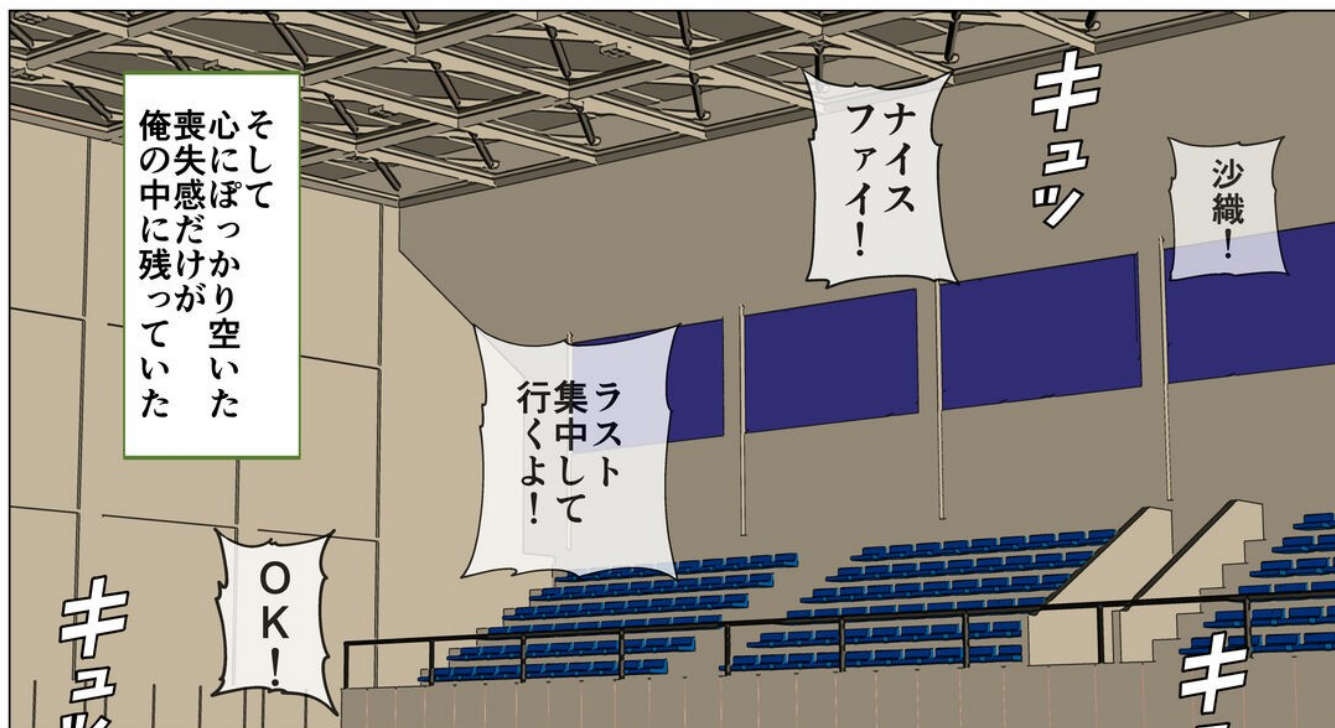
うん…
まあまあ
かな…

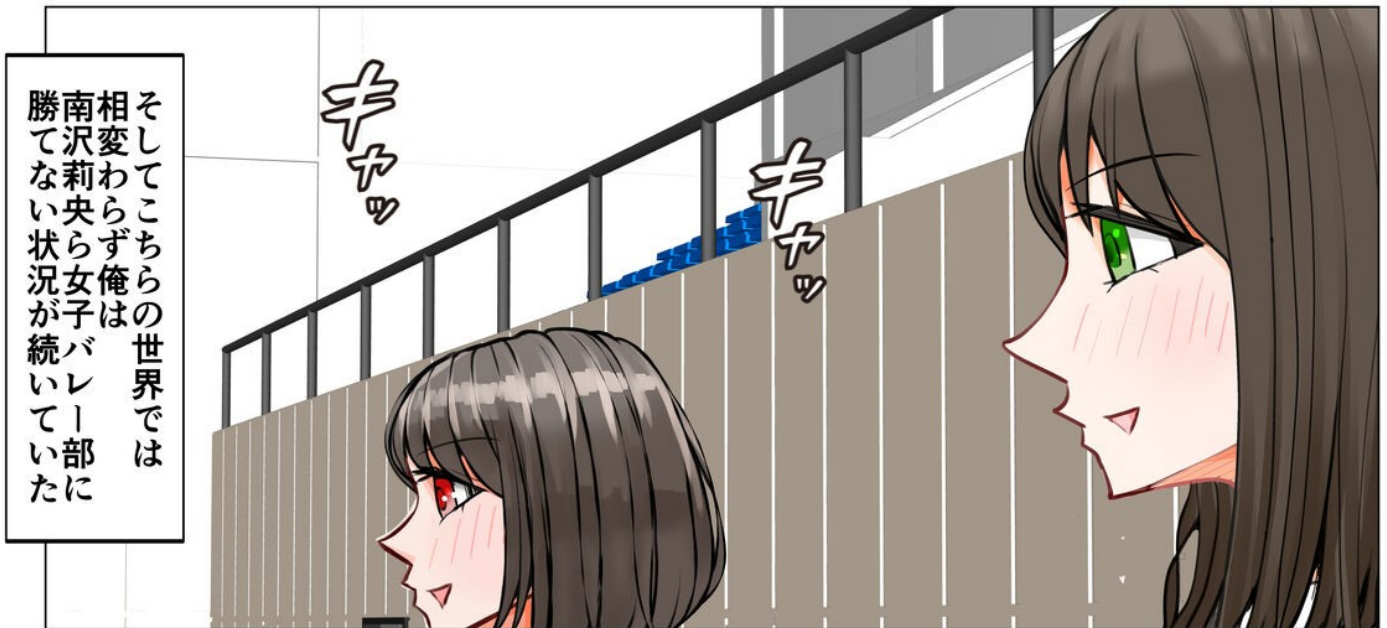
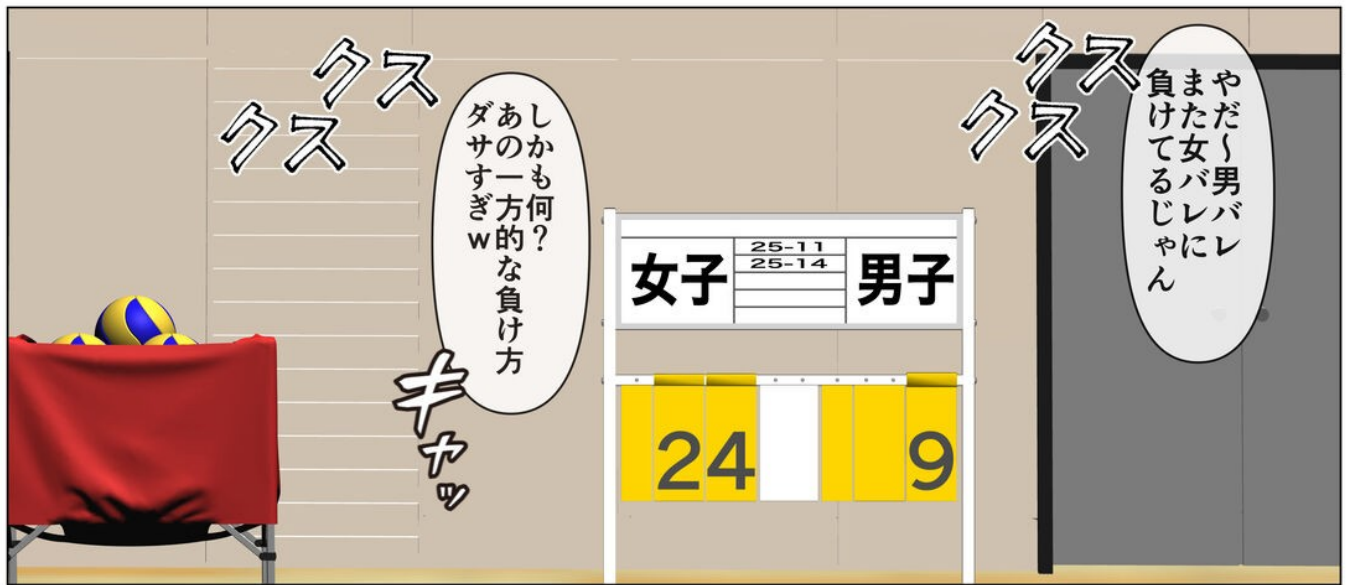
それから俺は、リオの女性器を
延々と奉仕し続けた
そしていつしかその日の夢は
終わりを告げた

それから
2週間ほどが経った...

あれ以来、不思議と
夢の世界に転生することは
なくなった

だから
女騎士の下僕になった
あの世界の自分が
その後どうなったのか
俺には分からない





いや…状況は
悪化したとも言える

ラスト
決めるよ！

莉央!!

くっ…
!?

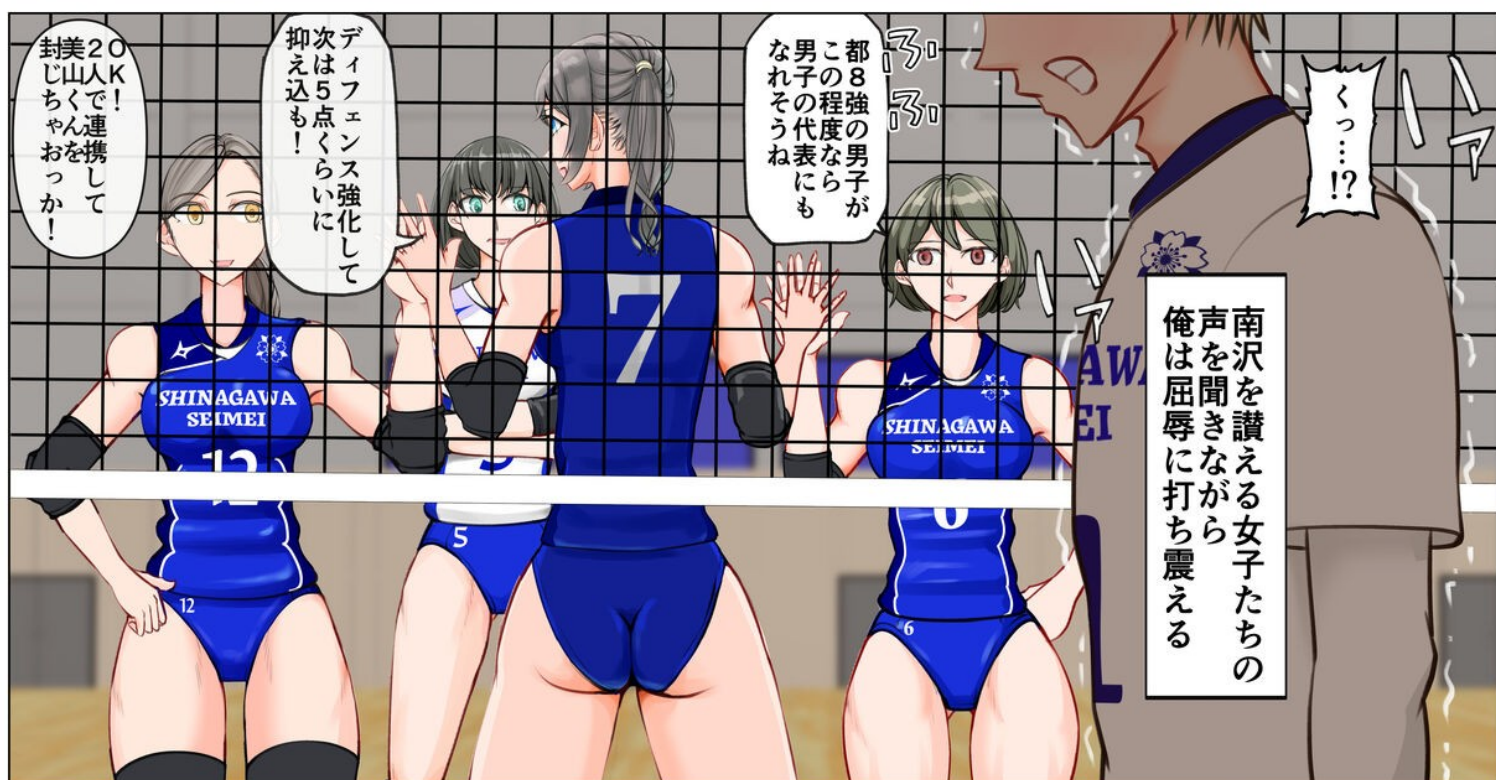
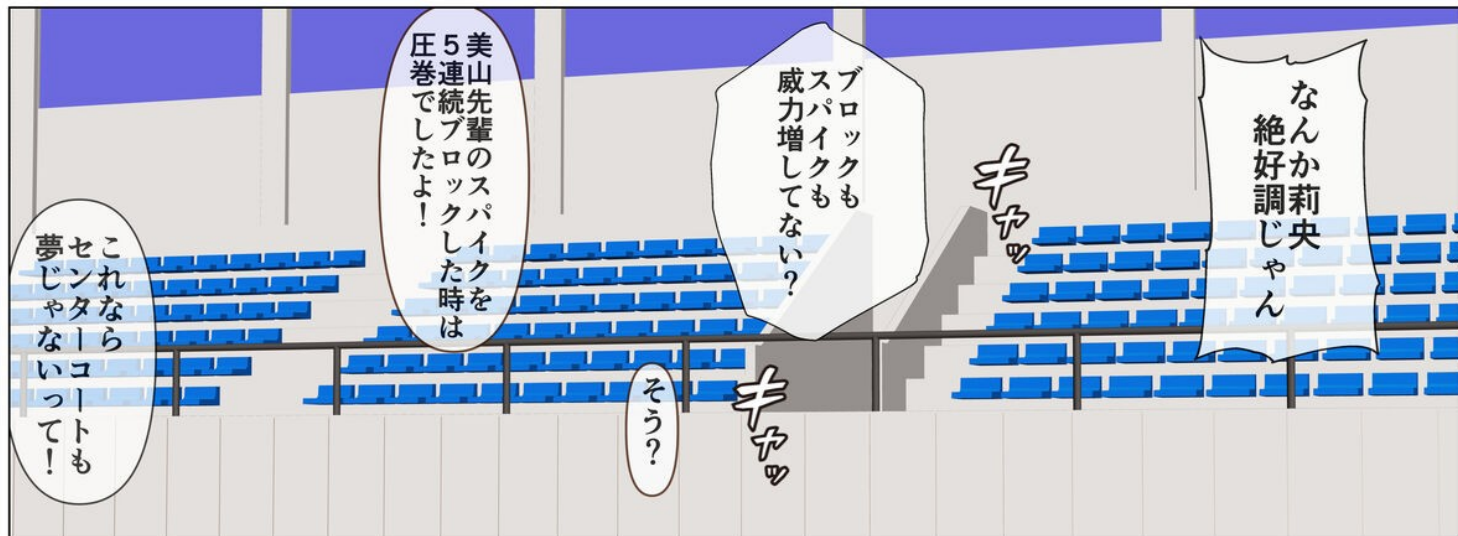
OK!!

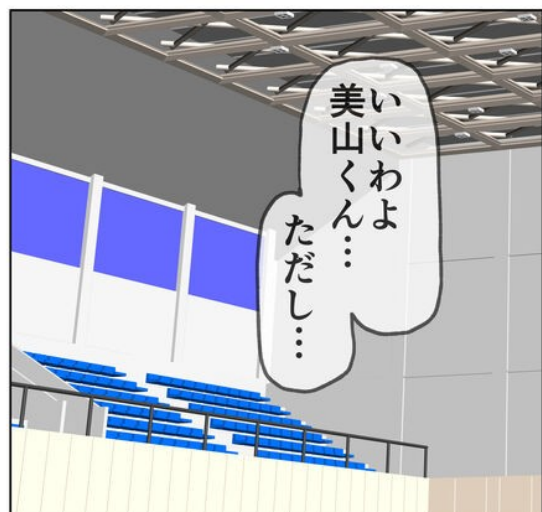
あの儀式を経て
俺と南沢との実力差は更に広がり
絶望的なものになっていったからだ

高い……！

ナイスキー！！

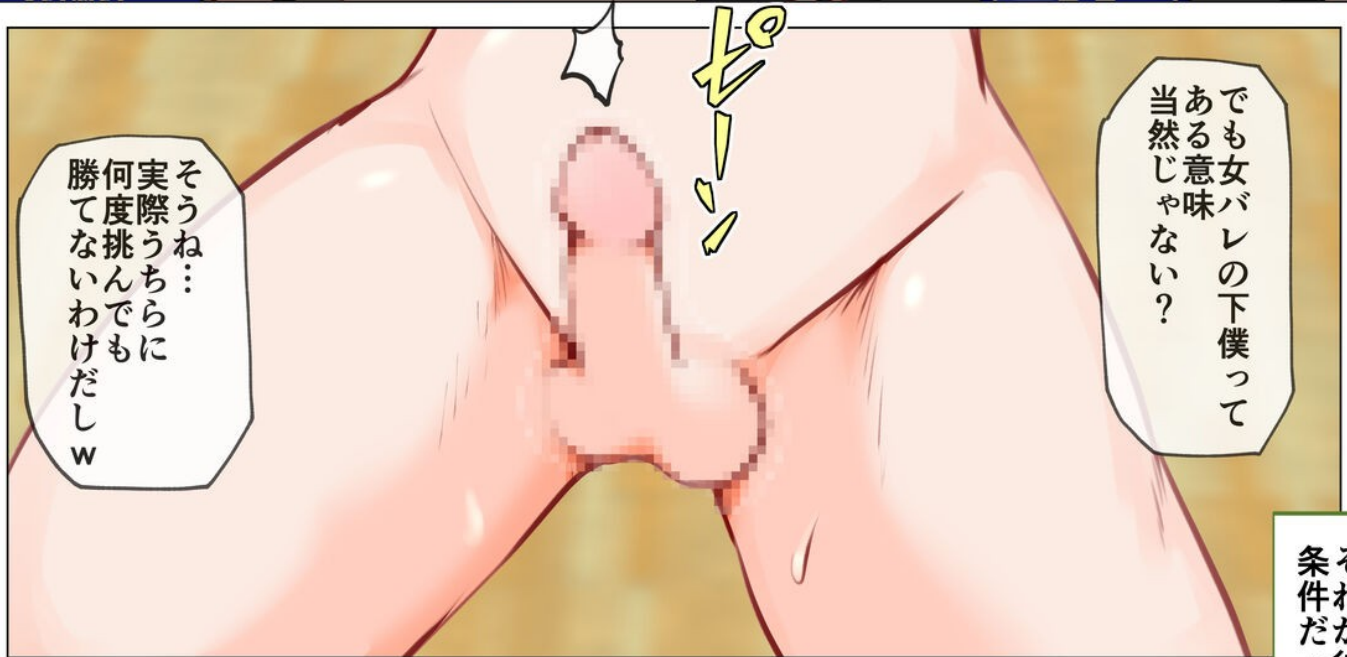






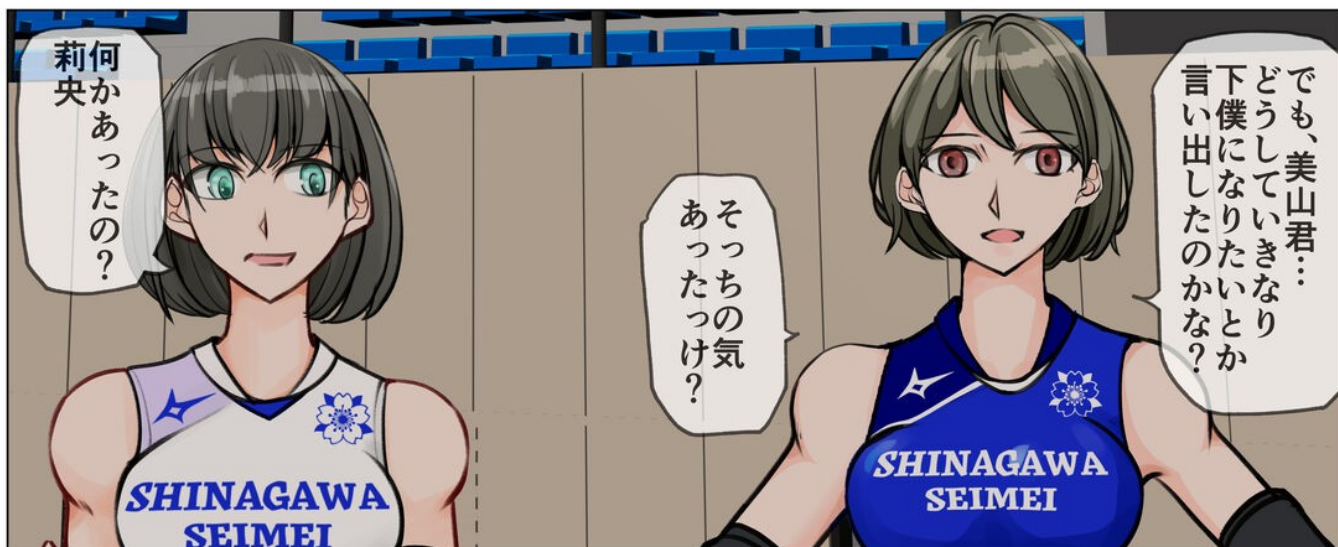
クス

クス



女子バレー部全員の下僕…
それが彼女が俺に課した
条件だった…







クス

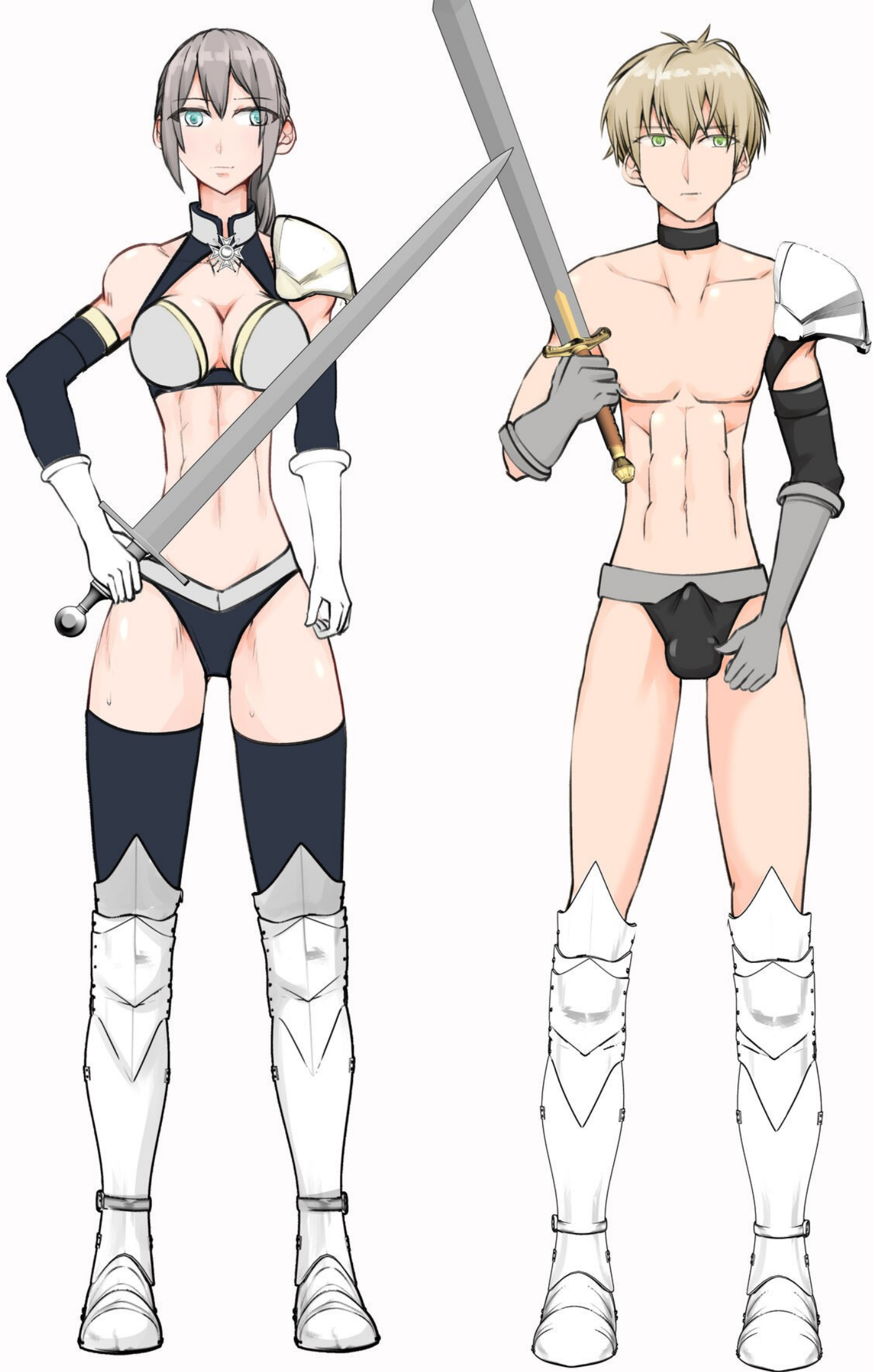
後で飲む方から
練習もするから♡

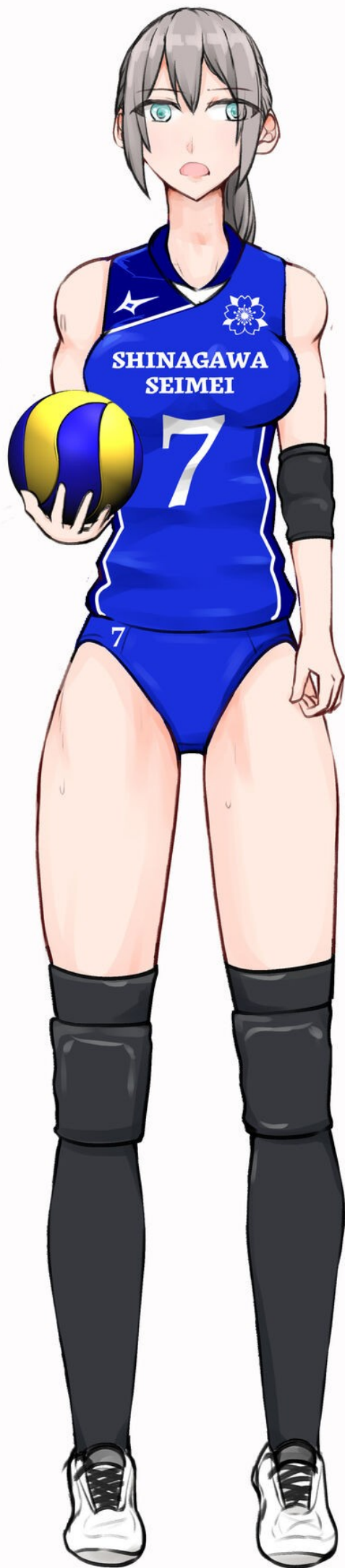
!?

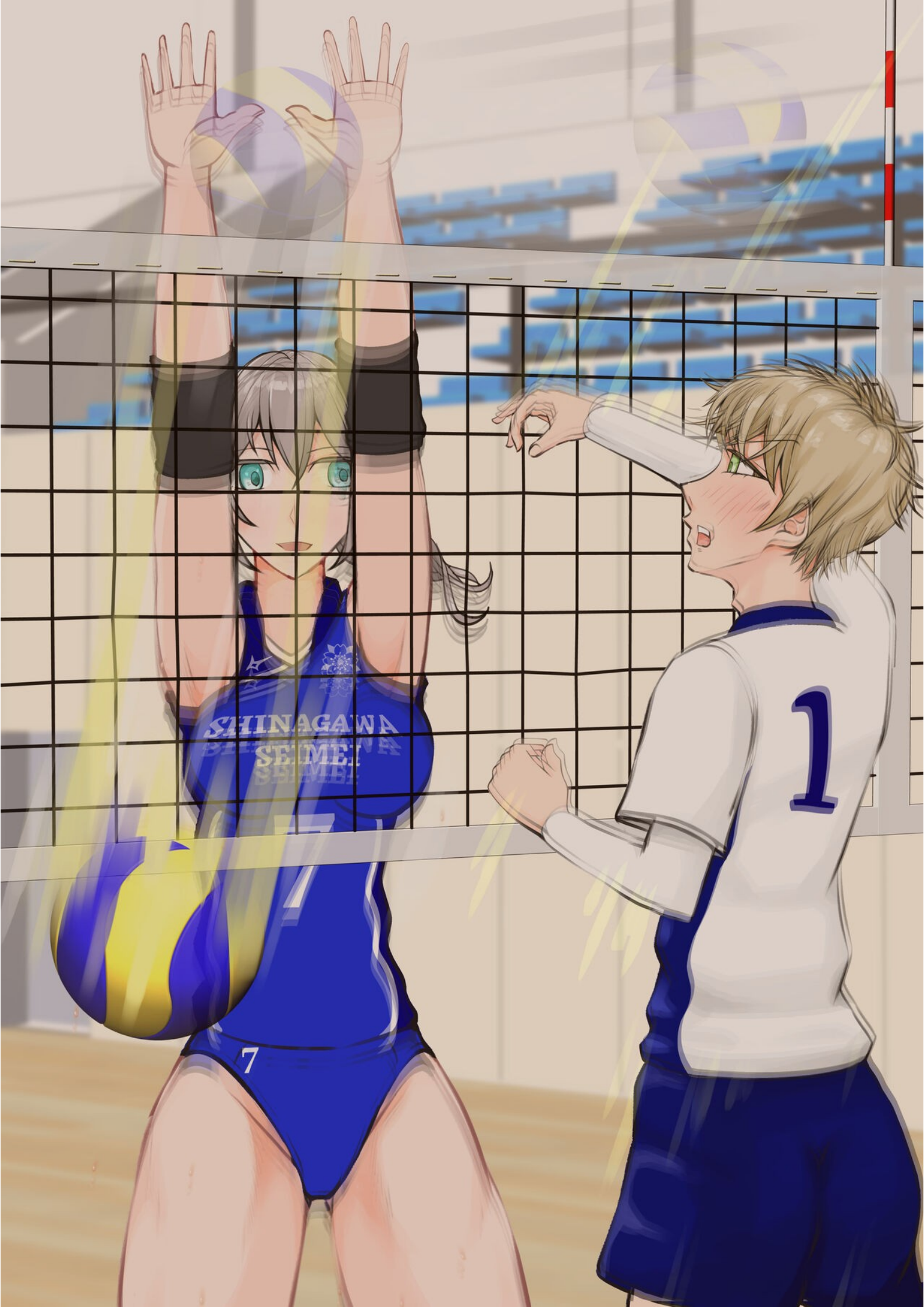
はい…

失われたあの世界での続きを求めるように
俺は『聖布(ブルマー)』を味わった
もちろん聖水も上手に飲めるようにならなければ…

終















東京

3

3

Tokyo

1

土川

6

6













